



**PATENT APPLICATION**

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re application of

Docket No: Q78774

Kazunori OCHIAI, et al.

Appln. No.: 10/725,347

Group Art Unit: 2671

Confirmation No.: 1327

Examiner: Unknown

Filed: December 02, 2003

For: IMAGE SIGNAL PROCESSING APPARATUS AND METHOD

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Submitted herewith is one (1) certified copy of the priority document on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority document.

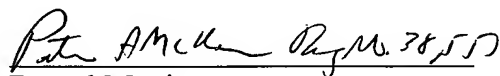
Respectfully submitted,

SUGHRUE MION, PLLC  
Telephone: (202) 293-7060  
Facsimile: (202) 293-7860

WASHINGTON OFFICE

**23373**

CUSTOMER NUMBER

  
Darryl Mexic  
Registration No. 23,063

Enclosures: Japan 2002-350648

Date: May 3, 2004

日 本 国 特 許  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2002年12月 3日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2002-350648

[ ST.10/C ]:

[ JP 2002-350648 ]

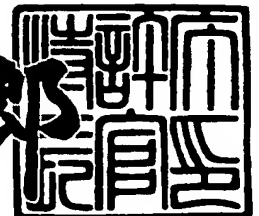
出 願 人  
Applicant(s):

パイオニア株式会社

2003年 6月30日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3051449

【書類名】 特許願

【整理番号】 57P0389

【提出日】 平成14年12月 3日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G09G 5/32

【発明者】

    【住所又は居所】 山梨県中巨摩郡田富町西花輪 2 6 8 0 番地 パイオニア  
株式会社内

    【氏名】 落合 和徳

【発明者】

    【住所又は居所】 山梨県中巨摩郡田富町西花輪 2 6 8 0 番地 パイオニア  
株式会社内

    【氏名】 長久保 哲朗

【特許出願人】

    【識別番号】 000005016

    【氏名又は名称】 パイオニア株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100083839

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 石川 泰男

    【電話番号】 03-5443-8461

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 007191

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 9102133

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像信号処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 入力画像信号の画質パラメータを変更するための操作を受付ける操作手段と、

前記操作手段により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、入力画像信号に基づいて 1 つの画面上に少なくとも 2 つの同一画像を表示するための複数画面表示画像信号を生成する複数画面表示画像信号生成回路と、

前記操作手段により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、1 画面分の前記複数画面表示画像信号の一方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更前の第 1 画質パラメータに基づく画質処理を行い、他方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更後の第 2 画質パラメータに基づく画質処理を行う画質調整回路と、

を備えたことを特徴とする画像信号処理装置。

【請求項 2】 前記第 1 画質パラメータおよび前記第 2 画質パラメータの設定値を表示する信号を生成する画質パラメータ表示信号生成回路と、前記画質パラメータ表示信号を前記複数画面表示画像信号に重畳する重畳回路とをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の画像信号処理装置。

【請求項 3】 前記複数画面表示画像信号生成回路は、1 水平走査期間の入力画像データに対してその 1 / 2 水平走査期間分の画像データを記憶する第 1 ラインメモリと、前記第 1 ラインメモリに記憶される画像データと同一の 1 / 2 水平走査期間分の画像データを記憶する第 2 ラインメモリと、1 水平走査期間の左右いずれか半分のうち一方の期間においては前記第 1 ラインメモリから書き込まれた 1 / 2 水平走査期間分の画像データを読み出し、1 水平走査期間の左右いずれか半分のうち他方の期間においては前記第 2 ラインメモリから書き込まれた 1 / 2 水平走査期間分の画像データを読み出す読出手段とを有し、

前記画質調整回路は、前記第 1 ラインメモリから読み出された 1 / 2 水平走査期間分の画像データを前記第 1 画質パラメータで調整し、前記第 2 ラインメモリから読み出された 1 / 2 水平走査期間分の画像データを前記第 2 画質パラメータ

で調整することを特徴とする請求項 1 に記載の画像信号処理装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画質パラメータに応じた画質処理を実行する画像信号処理装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、プラズマディスプレイパネル、液晶ディスプレイ、ELディスプレイ、CRTなどの表示装置において、輝度、コントラスト、シャープネス、色相などの各種画質パラメータの調整を行う際、使用者が記憶している調整前の画面表示状態と、調整後の画面表示状態とを比較しながら、画面表示状態を適切にするように調整を行っている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、従来の画質調整の方法では調整前の画面表示状態を記憶し、これと調整後の画面表示状態を比較しなければならず、使用者の記憶に頼らなければならない。このため、調整の前後でどの程度画質が変化したか分かりにくく、適切な画質の調整が困難である。

【 0 0 0 4 】

本発明は、上記の問題を解決するためになされたものであり、表示画面の画質調整を容易なものとしてすることができる画像信号処理装置等を提供することを目的とする。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に記載の画像信号処理装置は、入力画像信号の画質パラメータを変更するための操作を受付ける操作手段と、前記操作手段により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、入力画像信号に基づいて 1 つの画面上に少なくとも 2 つの同一画像を表示するための複数画面表示画像信号を生成する複数画

面表示画像信号生成回路と、前記操作手段により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、1画面分の前記複数画面表示画像信号の一方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更前の第1画質パラメータに基づく画質処理を行い、他方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更後の第2画質パラメータに基づく画質処理を行う画質調整回路と、を備えたことを特徴とする。

## 【0006】

## 【発明の実施の形態】

以下、図1～図3を参照して、本発明による画像信号処理装置の一実施形態について説明する。図1は本実施形態の画像信号処理装置を示すブロック図、図2は画像信号処理装置の動作に伴い画面に表示される画像の一例を示す図、図3は画像信号処理装置の動作タイミングを示すタイミングチャートである。

## 【0007】

図1に示すように、本実施形態の画像信号処理装置100は、入力画像信号を受けて画像のサイズを変更するリサイズ回路1と、リサイズ回路1から出力される画像データに基づいて、2つの同一画像を生成する2画像生成回路10と、2画像生成回路10から出力された画像データの画質を調整する画質調整回路3と、使用者の操作を受付ける操作部5と、画像信号処理装置各部を制御する制御回路6と、画質を規定する画質パラメータを画面上に重畳して表示させるための画像データを生成する重畳データ生成部7と、画像を表示する表示装置8とを備える。

## 【0008】

2画像生成回路10は、リサイズ回路1から出力される画像データを順次記憶する1/2ラインメモリ11Aおよび1/2ラインメモリ11Bと、画像データを格納する1/2ラインメモリを選択するためのセクタ12と、画像データを読み出す1/2ラインメモリを選択するためのセクタ14と、を備える。

## 【0009】

次に、図2および図3を参照して、本実施形態の画像信号処理装置100の動作について説明する。画像信号処理装置100の動作は、制御回路6による制御に基づいて実行される。

## 【 0 0 1 0 】

図 2 ( a ) は、通常時、すなわち画質を調整していない時における表示装置 8 の表示画面例を示している。

## 【 0 0 1 1 】

この場合には、リサイズ回路 1 に入力される入力画像信号は、リサイズ回路 1 においてリサイズ処理を施されることなく、2 画像生成回路 1 0 に向けて入力画像信号 S 1 として出力される。2 画像生成回路 1 0 のセクタ 1 2 は、入力画像信号 S 1 を 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に 1 / 2 水平走査期間分のデータずつ交互に振り分けて格納するように、制御回路 6 によって切り替えられる。すなわち、1 水平走査期間の入力画像信号 S 1 のうち、表示装置 8 の画面の左側半分を構成する画像データは 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A に格納される。また、1 水平走査期間の入力画像信号 S 1 のうち、表示装置 8 の画面の右側半分を構成する画像データは 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に格納される。

## 【 0 0 1 2 】

また、1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に格納された画像データを読み出す際には、原画像が再現されるように制御回路 6 によってセクタ 1 4 が切り替えられ、画質調整回路 3 に向けて入力画像信号 S 1 に対応する画像信号 S 2 が出力される。すなわち、表示装置 8 の画面の左側半分を構成する画像データは 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A から、表示装置 8 の画面の右側半分を構成する画像データは 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B から、それぞれ読み出され、画像信号 S 2 として出力される。

## 【 0 0 1 3 】

画像信号 S 2 は画質調整回路 3 において画質を調整され、表示装置 8 に向けて画像信号 S 3 として出力される。表示装置 8 には、例えば、図 2 ( a ) に示すような原画像が表示される。

## 【 0 0 1 4 】

一方、図 2 ( b ) は、画質調整時における表示装置 8 の表示画面例を示している。

## 【 0 0 1 5 】



制御回路 6 は、操作部 5 に対し画質調整のための操作が実行されたことを検出すると、画像信号処理装置 1 0 0 の各部を制御して表示装置 8 の表示画面を図 2 (b) に示すような画面に切り替える。図 3 は、画質調整が行われている場合の動作タイミングを示すタイミングチャートである。

## 【 0 0 1 6 】

画質調整が行われている場合には、リサイズ回路 1 に入力される入力画像信号は、リサイズ回路 1 においてリサイズ処理を施されることなく、2 画像生成回路 1 0 に向けて入力画像信号 S 1 として出力される。2 画像生成回路 1 0 のセレクタ 1 2 は、画面の左側半分を構成する同一の画像データを 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B にそれぞれ格納するように、制御回路 6 によって切り替えられる。すなわち、図 3 に示すように、水平同期信号によって区画された入力画像信号 S 1 の各 1 水平ライン分の画像データ A 1 , A 2 . . . のうち、それぞれ前半部分に位置する画面の左側半分を構成する 1 / 2 ライン分の画像データのみを 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に格納する。このとき格納される 1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B の画像データは互いに同一である。また、1 水平走査期間の入力画像信号のうち、表示装置 8 の画面の右側半分を構成する画像データ、すなわち、各 1 水平ライン分の画像データ A 1 , A 2 . . . のうち、それぞれ後半部分に位置する 1 / 2 ライン分の画像データはいずれの 1 / 2 ラインメモリにも格納されず、表示画面を構成する画像データとして使用されない。

## 【 0 0 1 7 】

1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に格納された画像データを読み出す際には、1 / 2 ラインメモリ 1 1 A および 1 / 2 ラインメモリ 1 1 B に格納された画像データを 1 / 2 ライン分ずつ交互に読み出すように、制御回路 6 によってセレクタ 1 4 が切り替えられる。このため、画質調整回路 3 には、表示装置 8 の画面の左側半分を構成する同一の画像データ A 1 , A 2 . . . がそれぞれ 2 回ずつ連続して構成される画像信号 S 2 が入力される。

## 【 0 0 1 8 】

画質調整回路 3 における画質パラメータは、制御回路 6 により画像データの入

力されるタイミングに合わせて、すなわち水平同期信号の周期の  $1/2$  の周期で切り替えられる。切り替えられる画質パラメータの 1 つは、画質調整前のパラメータであり、もう 1 つの画質パラメータは調整後（調整中を含む）のパラメータである。これらを水平同期信号の周期の  $1/2$  の周期で交互に切り替えることにより、画質調整前のパラメータに従った画像を画面の左側に、画質調整後のパラメータに従った画像を画面の右側に、それぞれ割り当てることができるため、画質パラメータの異なる同一画像を画面上に左右に並べて表示させることができる。

#### 【 0 0 1 9 】

図 3 では、画質調整回路 3 から出力される画像信号 S 3 に含まれる画像データのうち、調整前の画質パラメータに従った画像データを A 1 a, A 2 a . . . として示し、調整後の画質パラメータに従った画像データを A 1 b, A 2 b . . . として示している。図 3 に示すように、画質調整回路 3 からは水平同期信号で区画された 1 水平走査期間の前半では調整前の画質パラメータに従った画像データが出力され、1 水平走査期間の後半では調整後の画質パラメータに従った同一の画像データが出力される。したがって、図 2 (b) に示すように、表示装置 8 の画面の左側半分には調整前の画質パラメータに従った画像 2 1 が、表示装置 8 の画面の右側半分には調整後の画質パラメータに従った画像 2 2 が、それぞれ表示されることになる。

#### 【 0 0 2 0 】

また、重畳データ生成部 7 では制御回路 6 からの指令に従って、調整後の画質パラメータを示す画像の画像信号を生成し、加算部 9 において画質調整回路 3 から出力される画像信号にこれを重畳して画像信号 S 3 を生成する。図 2 (b) に示すように、重畳データ生成部 7 で生成された画像信号に基づいて、調整前の画質パラメータの値を示す表示 2 3 が画面の左側半分の領域に、調整後の画質パラメータの値を示す表示 2 4 が画面の右側半分の領域に、それぞれ重畳表示される。

#### 【 0 0 2 1 】

使用者が操作部 5 に対し、画質パラメータの調整を行うための操作を実行する

と、画質パラメータの値の変化に応じた画像が実質的にリアルタイムで、調整前の画像と並んで表示される。また、そのときの画質パラメータの値を認識することもできる。このため、使用者は、異なる値の画質パラメータに従って画面の左右に表示された同一画像を比較しつつ画質パラメータの値を調整することにより、容易に最適な画質を得ることができる。

#### 【 0 0 2 2 】

本実施形態において、画質パラメータとしては、コントラスト、シャープネス、色相等がある。

#### 【 0 0 2 3 】

リサイズ回路 1 におけるリサイズ処理を実行することにより、画質の調整時に原画像と異なるサイズの画像を表示させるようにしてもよい。この場合、画像の表示サイズを使用者の操作に基づいて可変できるようにしてもよい。図 2 (c) は、画質の調整時に原画像を縮小して表示する例を示している。図 2 (b) と対比すると明らかなように、図 2 (c) では、画質の調整前後での同一の画像 2 1 A, 2 2 A を原画像よりも縮小したうえで、並べて表示するようにしている。このように画像を縮小して表示することにより、原画像の全体ないし原画像のうちの広い領域にわたって同一の画像を並べて表示することができる。したがって、画像を縮小することで、画質パラメータをよりの確に設定できる場合もある。図 2 (c) において、画質調整前の画像が画像 2 1 A であり、画質調整後の画像が画像 2 2 A である。また、表示 2 3 A は画質調整前の画質パラメータを、表示 2 4 A は画質調整後の画質パラメータを、それぞれ示している。

#### 【 0 0 2 4 】

上記実施形態では、画質調整時に同一の動画を並べて表示する場合を例示したが、動画の代わりに静止画を表示させるようにしてもよい。

#### 【 0 0 2 5 】

上記実施形態では、画質調整前の画像を左側に、画質調整後の画像を右側に、それぞれ表示しているが画像の配置方法は制限されない。例えば、画質の異なる 2 つの同一画像を画面の上側と下側にそれぞれ配置してもよい。また、3 つ以上の同一画像を並べて表示してもよく、この場合には画質パラメータの値を互いに

異ならせて表示させることができる。

【0026】

以上説明したように、上記実施形態では、画質パラメータを変更するための操作を受付ける操作部5と、操作部5により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、入力画像信号に基づいて1つの画面上に2つの同一画像を表示するための画像信号S3を生成する2画像生成回路10と、操作部5により画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、1画面分の画像信号の一方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更前の画質パラメータに基づく画質処理を行い、他方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更後の画質パラメータに基づく画質処理を行う画質調整回路3と、を備えるので、使用者は画質調整前後の画像を比較しながら画質パラメータを最適化することができる。このため、画質の調整を容易かつ確実に行うことができる。

【0027】

上記実施形態および特許請求の範囲の記載に関し、操作部5は「操作手段」に、制御回路6は「読出手段」に、重畳データ作成部7は「画質パラメータ表示信号生成回路」に、加算部9は「重畳回路」に、2画像生成回路10は「複数画面表示画像信号生成回路」に、1/2ラインメモリ11Aは「第1ラインメモリ」に、1/2ラインメモリ11Bは「第2ラインメモリ」に、セクタ14は「読出手段」に、それぞれ対応する。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本実施形態の画像信号処理装置を示すブロック図。

【図2】

画像信号処理装置の動作に伴い画面に表示される画像の一例を示す図。

【図3】

画像信号処理装置の動作タイミングを示すタイミングチャート。

【符号の説明】

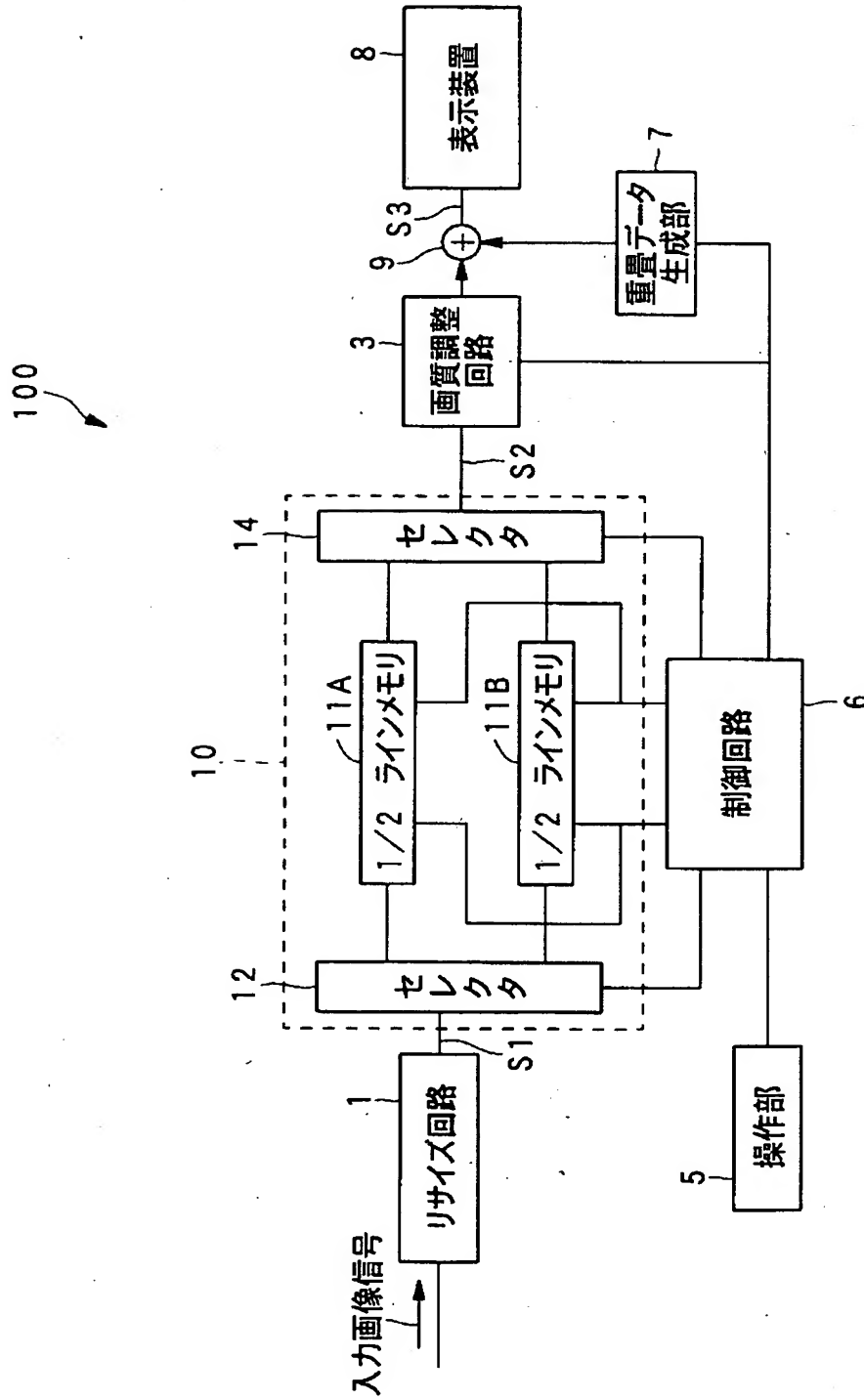
- 3 画質調整回路
- 5 操作部（操作手段）

- 6 制御回路（読出手段）
- 7 重畳データ作成部（画質パラメータ表示信号生成回路）
- 9 加算部（重畳回路）
- 1 0 2 画像生成回路（複数画面表示画像信号生成回路）
- 1 1 A 1 / 2 ラインメモリ（第 1 ラインメモリ）
- 1 1 B 1 / 2 ラインメモリ（第 2 ラインメモリ）
- 1 4 セレクタ（読出手段）

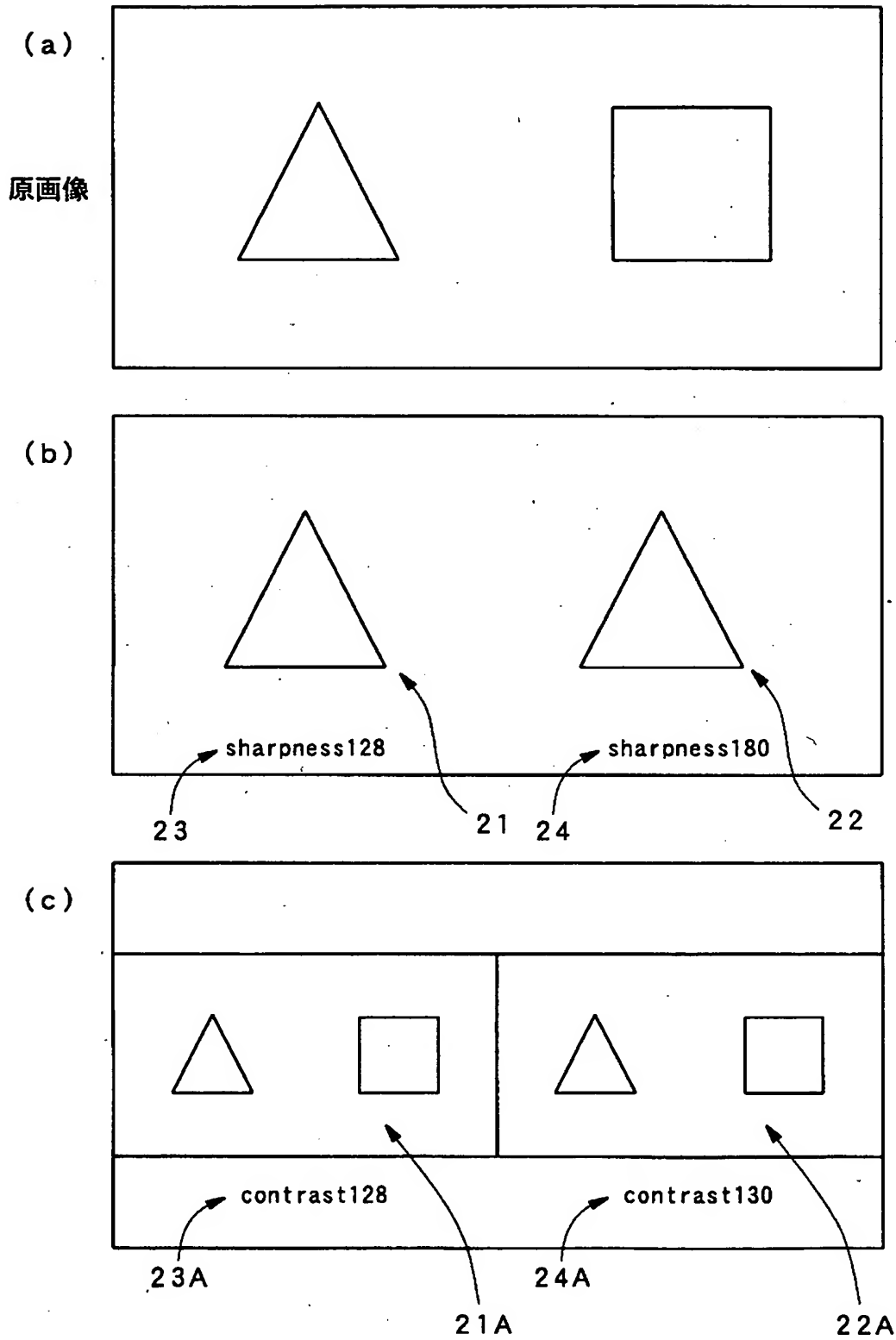
【書類名】

図面

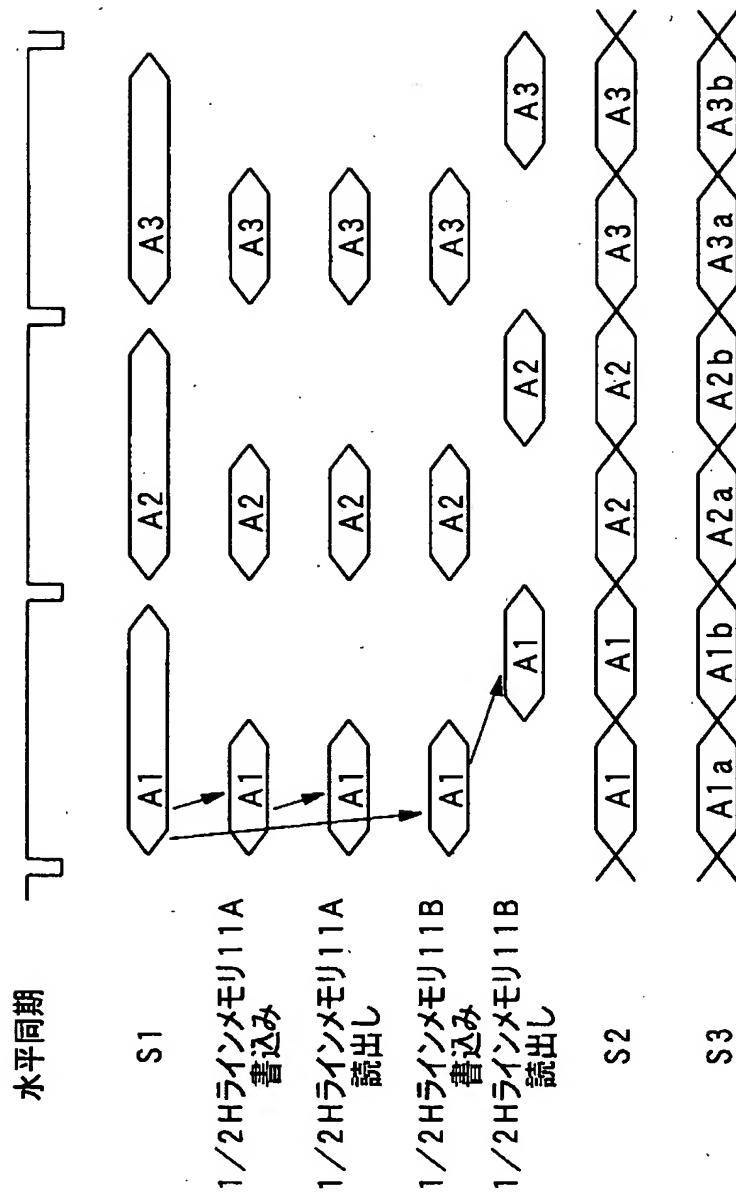
【図 1】



【図 2】



【図 3】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 表示画面の画質調整を容易なものとすることができる画像信号処理装置等を提供する。

【解決手段】 操作部 5 に対し画質パラメータの変更操作が行われたことに応答して、入力画像信号に基づいて 1 つの画面上に少なくとも 2 つの同一画像を表示するための画像信号 S 3 を生成する。また、画像信号 S 3 に含まれる一方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更前のパラメータに基づく画質処理を行い、他方の同一画像を表示する信号部分に対しては変更後の画質パラメータに基づく画質処理を行う。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000005016]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

氏 名 パイオニア株式会社